

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法  
科目コード:120307

## 成人看護方法論 I Adult Nursing I

担当教員名	紺家 千津子、大西 陽子、額 奈々、幅 大二郎				
実務経験	複数の教員が担当しており、全員に病院勤務経験がある。				
開講年次	2年次前期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	15		
Keywords	成人期の特徴、呼吸機能障害、循環機能障害、機能障害のアセスメントと看護				
学習目的・目標	<p>&lt;目的&gt; 成人期における人間の健康機能障害をアセスメントし、看護上の問題を確定した上で看護実践の基本となる実践的思考プロセスを学修する。</p> <p>&lt;目標&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 成人期に生じる呼吸、循環、脳、消化器に機能障害をもつ患者の健康障害の原因・要因について述べるができる。</li><li>2. 成人期に生じる呼吸、循環、脳、消化器に機能障害をもつ患者の日常生活における影響について述べるができる。</li><li>3. 成人期に生じる呼吸、循環、脳、消化器に機能障害をもつ患者のアセスメントの視点を述べるができる。</li><li>4. 各機能障害における看護上の問題に対し、具体的な援助の方法について述べるができる。</li></ol>				
授業計画・内容					
回	内容				
事前準備	各機能に関連する解剖・生理学、疾病障害論等について復習の上、受講する。				
1-2	呼吸機能に障害を有する患者の看護 レポート課題				
3-4	循環機能に障害を有する患者の看護 レポート課題				
5-6	脳機能に障害を有する患者の看護 レポート課題				
7-8	消化器機能に障害をもつ患者の看護 レポート課題				
教科書	疾病・障害論で使用したテキスト 系統看護学講座 専門分野成人看護(2)呼吸、(3)循環、(5)消化器、医学書院				
参考図書等	疾病・障害論で使用した教科書及び資料 看護学大辞典 第6版(電子版)メジカルフレンド社(図書館 e-book利用可)				
評価指標	授業回数の2/3以上の出席者を評価対象とする 試験 60%、レポート 40%				
関連科目	解剖生理学、解剖生理学演習、代謝と栄養、疾病・障害論ⅡA・ⅡB・ⅡC等				
教員から学生へのメッセージ	成人看護学で学ぶ内容は広範囲です。疾病・障害論等で学んだことを想起・振り返りながら学習してください。暗記をしても知識は定着しません。一つずつ理解しながら学習をしてください。看護学は人間の健康生活に即して考える学問なので、自身の生活、周囲の方々とウオッチングしながら考えるとおもしろくなります。				